

＜町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案の市民意見募集実施結果＞

2015年9月に公表した町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について、市民の皆さまのご意見を募集しました。

市民の皆さまから具体的なご意見・アイデアを多数いただき、ありがとうございました。

いただいたご意見・アイデアを参考に人口減少時代にあっても町田市が、「住みたいまち」「住み続けたいまち」「訪ねたいまち」「子育てしたいまち」として、将来「きらめく町田」を迎えるために、町田市の総合戦略に独自に設定した戦略視点にある「人と地域が主体となった豊かにすごせるまち」を実現できるよう取り組んでいきます。

個々のご意見の概要、市の考え方については、3ページ以降をご参照ください。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

1 意見の募集期間

募集期間 2015年9月24日（木）～ 10月23日（金）

2 意見募集の方法

◆ 以下の施設での資料閲覧・配布

企画政策課、市民相談室、市政情報課、男女平等推進センター、各市民センター、各連絡所、生涯学習センター、各市立図書館、町田市民文学館

◆ 町田市ホームページへの資料掲載

3 寄せられたご意見の件数・内訳

電子メール、郵送等を通じて、27名の方から、120件のご意見をいただきました。ご意見の項目別の内訳は次のとおりです。（おひとりから複数の趣旨のご意見をいただいた場合は、趣旨ごとに分割して集計しています。）

【ご意見件数】

基本目標	該当する基本施策	件数
1.経済活動を盛んにするための取組に関するアイデア	起業・創業の支援	3
	企業誘致の推進	6
	商店街の活性化支援	4
	農業事業者の経営の支援、農とふれあう場や機会の提供	5
	その他	4
		22
2.人々が交流するまちづくりを推進する	文化芸術活動の振興、良質な文化芸術にふれる機会や場の創出	3
	スポーツ活動の振興	3
	まちの魅力の創造と向上	6
	まちの魅力を活かした観光の推進	6
	シティプロモーションの推進	9
	地域の交流の促進	7
		34
3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	多様な保育、幼児教育の充実	6
	子育てに関する相談・支援体制の充実	8
	楽しく学べる教育の充実、豊かな体験・交流ができる機会の充実	7
	地域と学校の連携強化	1
	その他	2
		24
4.時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	健康づくりの支援	4
	路線バスの利用環境の整備、鉄道・路線バスを補完する交通手段の充実	4
	商業拠点の戦略的な整備	2
	交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)	3
	災害への備えの強化、防犯対策の推進	5
	多様な住まいを確保する	9
	その他	4
		31
その他	計画全般	6
	人口ビジョン	1
	その他	2
		9
合計		120

<ご意見の概要と市の考え方>

1.経済活動を盛んにするための取組に関するアイデアについて 22件

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
1	起業・創業の支援	SOHOの育成(在宅ワーク)を進めてはどうか。	自宅起業、インターネット起業などの「身の丈起業」については、町田商工会議所等と連携を深めながら支援を進めていきます。
2	起業・創業の支援	地域の経済活動が活性化するための『市指定事業』、『持ち込み事業』、『自主事業』の展開を図ってはどうか。	市内の経済活動活性化に向けて、商店会、町田商工会議所、金融機関等と連携を深めながら各事業の推進を進めていきます。
3	起業・創業の支援	定年後も安定した収入を得られる就業場を提供してはどうか。	豊富な経験を持つリタイヤ人材の活用については、個々の創業ニーズに対する支援や企業とのマッチング促進を通じて活躍の場の確保支援を進めていきます。
4	企業誘致の推進	興業施設を増やしてはどうか。	都市基盤の強化及びターミナル機能の強化と連動し、町田市企業等立地促進地区奨励金交付要綱に基づき、積極的に企業誘致を進めていきます。
5	企業誘致の推進	男女平等とワークライフバランスに優れた企業を優遇するまちづくりを進めるため、男女平等等をキーワードにして人を呼び込んではどうか。	市では「第3次男女平等推進計画」を策定し、仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)推進に積極的に取組む、市内の企業・事業所を「町田市仕事と家庭両立推進企業賞」として表彰し、市民の皆様にお知らせしています。 ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
6	企業誘致の推進	男女平等の先進都市としてのブランド作りを図ってはどうか。	市では「男女平等参画都市宣言」を記念して男女平等フェスティバルを開催しており、今年で第15回を迎え、延べ約3400人のご来場がありました。今後も「第3次男女平等推進計画」に基づく取組みを進めていきます。
7	企業誘致の推進	できれば駅前に企業を誘致してほしい。	市内各駅周辺の近隣商業地域・商業地域については企業等立地促進地区としており、今後も企業誘致を進めていきます。
8	企業誘致の推進	町田市は特化した産業や企業が少いため大手企業を誘致することで都心部への転出に歯止めにもなり税収の増加も期待できるのではないかと。	町田市企業等立地促進地区奨励金交付要綱に基づき、今後も企業誘致を進めていきます。
9	企業誘致の推進	町田市の道路事情の悪さが大企業進出の阻害要因となっている。例えば、国道16号から圏央道相模原愛川インターチェンジへのアクセスなど、町田の発展に貢献する区間をいくつか設定し、現在の所要時間を半減することを方針として積極的にアピールすることで、大企業進出、マンション建設等を推進してはどうか。	町田市の立地特性から大手企業の進出は難しいと認識しています。町田市企業等立地促進地区奨励金交付要綱に基づき、今後も企業誘致を進めていきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
10	商店街の活性化支援	FC 町田ゼルビアは地域に密着する姿勢のクラブであり、活動を通して、新たな人間関係の構築や地域での交流・連帯感を強めていると感じている。最近では、地元食材を使用した飲食店も展開するなど多方面に健闘している。応援の賑わい、ボランティアを通じて世代を超えた交流も生まれていることやスポーツに触れて健康を意識することなど、この戦略にぴったりだと思えます。具体的な施策にFC町田ゼルビアの活用を盛り込んで欲しい。	町田市のホームタウンチームであるFC 町田ゼルビアは、地域の市民や日常活動とより多くの接点を持ち、より身近な存在として浸透していくため、地域祭事や地域貢献活動、市主催事業などとホームタウンチームの活動として幅広い分野で地域や市民との接点を増やす取組みを進めています。各施策の中での連携主体として認識していきます。
11	商店街の活性化支援	町田駅周辺にある百貨店などの商業施設に高級ブランドの店舗を入れてほしい。現状では、ローカルなイメージがあり、町田で買い物する意欲がわからない。	商店街の活性化支援、商業拠点の戦略的な整備におけるご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
12	商店街の活性化支援	交流目的の飲食イベントとして街バル等を開催してはどうか。	商店街の活性化支援のアイデアとして、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。なお、昨年度から成瀬の3つの商店街が「なるバル」と称し、商店街をまたいだイベントを実施しています。
13	商店街の活性化支援	シャッター商店街の解消に新しく店開きをする方々へ起業費用の貸付等の援助・実際に制度を利用した店舗を紹介するなどの取組みを行ってはどうか。	具体的な施策として、起業・創業の支援、商店街の活性化支援を位置付けており、これらを通じて地域にふさわしい取組みを推進していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
14	農業事業者の経営の支援	町田市の伝統技術、特に農家の方々の伝統技術を継承する機会を提供してはどうか。	農の新しい担い手や援農者向けの農業研修事業を実施しており、地元の農家に講師になっていただいています。また、農家が講師になり野菜作りを体験できる体験農園が8箇所あります。今後も体験農園を増やし、多くの市民の方に利用していただけるよう推進していきます。
15	農業事業者の経営の支援	農作業を体験して頂き、本格的な農業に勤しみたい方々への農地の無償提供、もしくは廉価での農地提供を図ってはどうか。	農地は個人の財産であり、所有者以外が利用するには様々な法律の制約があります。その中で市民農園事業を行っています。ご意見を参考とさせていただき、施策を推進していきます。
16	農業事業者の経営の支援、農とふれあう場や機会の提供	都会のコンクリートジャングルで働く人にとっては、「緑と土」は大きな癒しとなる。市外と差別化するには、今後、より多くの緑の農地を残していくことが大切。安易な宅地分譲を繰り返しては、将来的に空き家が増えてしまうのではないのでしょうか。農地を残していくためには、農業の担い手の確保が不可欠です。農業が職業として安定するように、安心安全新鮮なまちだの農作物というブランドが必須だと思います。また、緑と土に触れ合う場を提供するなどし、人と人がつながれる場を作っていくことも、魅力のひとつになると思います。	市街化区域内の生産緑地や農地を残し、担い手の確保は重要と認識しています。遊休農地解消や担い手確保のための農地斡旋事業や農業研修事業を行っています。ご意見を参考とさせていただき、施策を推進していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
17	農業事業者の経営の支援	地産地消の観点から市内の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、大学、社会福祉施設等に野菜や卵、牛乳などを積極的に提供し、農業の活性化を図ってはどうか。	市内の給食提供施設で地産野菜を使用することは、地産地消を推進する上で重要な取り組みと認識しています。現在も牛乳、野菜、米などの供給を行っておりますが、今後も供給量を増やす取り組みを進めていきます。
18	農とふれあう場や機会の提供	町田市の恵まれた自然環境と農業をコンセプトした【農業女子(農女)プロジェクト】を発足させ、「農業女子(農女)」に密着したイベント・ワークショップを開催し、農業に触れ合う機会を提供するほか、農業と自然環境をコラボした自然ヒーリング事業の展開、マルシェなどの野菜販売とお手製野菜料理を提供する場を設ける、町田野菜を使用したクッキングコンテスト開催などを行ってはどうか。	農とふれあう場や機会の提供の中で、ご意見を参考に検討していきます。
19	その他	公共事業の工事入札を見直し、できれば市内企業が100%受託できるようにしてほしい。	講ずべき施策の基本的な方向性に、市内事業者の事業の拡大を位置付けています。ご意見として承り、検討していきます。
20	その他	町田市の最低賃金を上げてほしい。	最低賃金は国が都道府県別に定めています。総合戦略では、講ずべき施策の基本的な方向性に、市内で就業できる環境の確保を位置付けております。最低賃金の引き上げにつきましては、ご意見として承ります。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
21	その他	<p>少子高齢化時代を見据えた高齢者も職場で活躍できる事業場の充実を図ってはどうか。</p>	<p>基本目標4の講ずべき施策の基本的な方向性にも高齢者が生きがいを持って暮らせる活動を促進すると記載しています。この実現のため、経済活動においても、創業支援や企業誘致、ものづくり産業の支援、農業の担い手確保等の中でご意見を参考に検討していきます。</p>
22	その他	<p>町田市が先鞭を切って「エネルギーの地産地消モデル実証」を行い、エネルギー地産地消ビジョンを掲げ実行していけば、エネルギー問題解決への貢献はもちろんのこと、雇用創生、人口増加などの副次的効果も期待できるのではないか。</p>	<p>町田市では、第2次環境マスタープランに基づき「再生可能エネルギー」への取り組みとして、「太陽光発電等の再生可能エネルギー導入の促進を行っています。「水素エネルギー」への取り組みは検討を進めています。</p> <p>また、一般廃棄物資源化基本計画では、生ごみの資源化を進めるため、生ごみをバイオの力によりガス化し、発生したガスで発電を行っていく予定です。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

2.人々が交流するまちづくりを推進する 34件

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
23	文化芸術活動の振興	数十のステージを設け、ジャンルを決めずにアマチュアのアーティストを招いた音楽系イベントなど、時代を超えたイベントを展開してはどうか。	町田ターミナルプラザ市民広場では、毎週末に音楽を中心に多くのイベントを開催しています。恒例の音楽イベント「町田ミュージックパーク」では、個性あふれるアマチュアミュージシャンをはじめ、売り出し中の若手ミュージシャンから実力派のベテランミュージシャンまで、ジャンルを問わず魅力たっぷりのグループが熱い演奏を繰り広げています。ご提案いただきましたイベントについては、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
24	良質な文化芸術にふれる機会や場の創出	<p>(仮)「町田まちなか文化祭」の毎年開催</p> <p>町田市内には、多くのアーティストが居住はもちろん制作の場として工房も多く点在し、周辺の美術系大学の学生も多く、演劇や音楽関係者も沢山いるため、秋の市内文化芸術関連団体の行事や展覧会、音楽・演劇などをまとめて「町田まちなか文化祭」とし、10月1ヶ月間毎週土・日に各所でイベントを開催してはどうか。数年後、町田から新しい市民文化芸術の潮流を発信し“町田は文化芸術の街”になることを第一義とし、市民がいろんな芸術文化に参加し触れる機会の創出、市内で活動や制作している芸術団体等への支援と相互の交流を図る、まちなか各所のイベントで回遊性と賑わいを創出することが考えられる。</p> <p>数年後には10月は町田中が文化芸術のまつりで賑わい、市民や市外からの人びとが交流する一大イベントに発展させ、町田から将来の芸術家を送りだしたい。それには市と意志ある市民で慎重で十分な討議が為されることが肝要と思います。</p>	<p>様々なイベントの開催については、町田市には多くのアーティストや文化芸術に関する多様な主体があり、交流や連携を通じて、良質な文化芸術にふれる機会や場の創出の中でご意見を参考に検討していきます。</p>

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
25	良質な文化芸術にふれる機会や場の創出	町田市内には、市行政及び企業が設置した“パブリックアート”が約 30 数点あるため、市内パブリックアートの観光資源化として、文化振興課若しくは産業観光課で市内のパブリックアートを一元管理して、メンテナンスを十分にマップを制作してはどうか。また、町田まちなかを大きな美術館と考えて、市民の方々に自宅の空きスペースや庭に彫刻などの作品を設置してもらふ事業の実施をしてはどうか。設置する彫刻作品は、市の事業として国内外に「彫刻コンクール」を隔年か 3 年毎に実施し、その中から設置者に選んでいただくなど。可能であれば、アーティストは下絵で応募し採用が決まったら町田市に 2・3 ヶ月滞在して制作してもらい、その間に設置希望者はアーティストとも交流でき、また子ども又は大高校生向けのワークショップを実施してもらい交流を図ることが考えられる。市が標榜している「芸術文化の創造都市づくり」にも合致する。	彫刻に関する取組みは、良質な文化芸術にふれる機会や場の創出の中で、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
26	スポーツ活動の振興	最寄駅から徒歩圏内に全天候型のスポーツ施設を設けることで、確実に試合ができ、家族や友人等が応援でき、家族間の共通の話題の提供をし、明るい家庭や地域社会を構築できるのではないかと。	町田市新 5 年計画の財政見通しや町田市人口ビジョンで将来の人口の変化による歳出増加のとおり、町田市の財政状況は厳しい状況にあります。そのため、ご提案いただきました「最寄駅から徒歩圏内に全天候型のスポーツ施設を設けること」の実現につきましては、難しいものと考えます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
27	スポーツ活動の振興	2020年に開催予定の東京オリンピックに向け、スポーツを通して、人々が交流する催しや、高齢者が継続して行えるスポーツ施設、子供が自分に合ったスポーツをみつけられる様にスポーツ体験の場を増やしてはどうか。	スポーツを通じた人々の交流、体験は重要だと認識しています。スポーツ活動の振興において検討していきます。
28	スポーツ活動の振興	広い町田市の中で、公営の体育館が2つしかないのはいかがなものか。特別大きなくても良いので、小山田スポーツセンター、忠生スポーツセンターといったように各地域ごとに1つあっても良いのではないか。現状、2つの体育館ではスポーツを始めたいという市民の要望をさばききれていないと思う。	町田市新5カ年計画の財政見通しや町田市人口ビジョンで将来の人口の変化による歳出増加のとおり、町田市の財政状況は厳しい状況にあります。そのため、ご提案いただきました新たなスポーツ施設を設けることの実現につきましては、難しいものと考えます。
29	まちの魅力の創造と向上	ベッドタウンである町田であるからこそ、休日・余暇を充実して過ごせる様にするのと良いと考えます。市の施設(体育館や公園)などで、いろいろな年代を対象にしたイベントを増やしてはどうか。	市の施設でのイベントについては、まちの魅力の創造と向上の施策の中で、町田市独自の戦略的な視点に掲げている公共施設の民間への開放など、民間事業者や住民の方々とも連携しながら、ご意見を参考に検討していきます。
30	まちの魅力の創造と向上	年に数回、サッカーや陸上、テニスなどのスポーツ系と農業を中心とした文化自然系イベントを大規模で開催してはどうか。例えば、「食」は農業女子が栽培し、収穫した食材を使用し、町田地元野菜をアピールしたり、3世代が交流できるスポーツイベントの開催、外国人が日本の文化・食を堪能できるイベントの開催など。	スポーツと農業を中心としたイベントの開催について、まちの魅力の創造と向上に関わる事項と認識し、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
31	まちの魅力の創造と向上	シバヒロで行っているイベントの内容がうすいので、ターゲットをしぼるか、告知を分かりやすくするほか、もっと宣伝してはどうか。	メディアに取り上げられるようなイベントの誘致やファミリーで楽しめるイベントの企画立案に努めていきます。周知、開催方法について、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
32	まちの魅力の創造と向上	人々が交流する場として、市民ホールでの交流イベントを開催してはどうか。	交流イベントの開催について、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
33	まちの魅力の創造と向上	遊休市有地や都市公園に花壇広場を設け、市民ボランティアによる花壇管理をしてはどうか。	市民ボランティアによる花壇管理については、市民のみなさんが主役となり、花と緑いっぱいのまちの実現に向けて共に考え、共に育て上げていく「花壇コンクール」事業として取組みを進めています。地域の多様な主体が協働して生活を豊かにする場をつくり、多様な人々の交流や活動が生まれています。
34	まちの魅力の創造と向上	オリンピック・パラリンピックが夏なので、最近あまり咲かない薬師池公園のハスを確実に咲かせて欲しい。ハスは外国人にとって珍しいと思うので観光財産だと思います。年に一度の観蓮会は上野公園を参考にした風情のある手法に転換して、一日に何度か楽しめる催しにして、蓮の文化を紹介していくプログラムを展開したら良いと思います。	薬師池公園の観光資源の活用やオリンピック文化プログラムにつきましては、文化芸術活動の推進、まちの魅力の創造と向上（観光まちづくり推進や薬師池公園四季彩の杜の地域全体の魅力向上）に向けた施策として取り組んでいきます。ご意見の趣旨につきましては、今後事業を推進する上での参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
35	まちの魅力を活かした観光の推進	町田市三輪町の敷地である「こどもの国」において、三輪緑地の活用など、高齢者を含めた利用を活発にさせてはどうか。	公的空間を活用しながら事業者が活動、交流できる空間の確保策の一環として、高齢者を含む利用についても、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
36	まちの魅力を活かした観光の推進	町田市は丘陵地で四季折々の豊かな環境がある。ウォーキングコースもいくつかあるようだが、積極的なPRがなく、あまり知る機会がない。健康を維持するために、自然を感じながら目的を持って歩くことは良いことだと思うので、最近流行しているストックを持って歩くスポーツを里山歩きとセットにして、フットパス観光都市を目指してはどうか。	ウォーキングコースやフットパスコースの周知については既に取り組んでいるところですが、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
37	まちの魅力を活かした観光の推進	同級生が「話しをして集まる」機会・場を町田で提供してはどうか。	講ずべき施策の基本的な方向性として町田発の活動や文化が生まれる出会いと交流の場をつくることを位置付けておりますので、ご意見として承ります。
38	まちの魅力を活かした観光の推進	“まちだの宝探し”で「世間遺産」登録をしてはどうか。地域には他の地域の人びとや全国に誇りたい物が必ず眠っているので、例えば、子どもや高齢者も楽しんで参加できるイベントとして、子どもの夏休みか春休みに地域の“宝探し”を町田全域で一斉に行うことなど。	講ずべき施策の基本的な方向性として、地域資源を活かしてまちの魅力を高め、発信することを位置付けておりますので、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
39	まちの魅力を活かした観光の推進	相原の観光を推進するため、緑地を基軸として、春には、新緑や丹沢連峰、富士山等を見ながらの散策、秋から冬には、夕焼けや富士山等を見ながらの散策、普段は歴史散策、広域的には相原から八王子市の片倉城址までの散策、高尾山から大地沢青少年センター・相原駅までのハイキング、相原駅から相模川でのリニア新幹線の見学などを進めてはどうか。	まちの魅力や地域資源を活かした観光の推進のため、相原地域の観光についても、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
40	まちの魅力を活かした観光の推進	相原の住民として、a)対流を起こす街づくりのため、丘陵内の市の緑地を利用して子供たちの自然遊び公園・一部の公共施設(病院など)・休憩場所等を設置する、境川沿いに遊歩道を設置する。b)若者が集う街づくりのため、新設する道路を並木道にする、特に駅周辺に若者がたたずめるスペースを作るc)思い切った方策として、市の緑地に運動競技場施設を新設する、相原周辺の大学を利用し、学生の町・芸術の町をテーマにした町づくりを考える。など、相原を一言で表現できる言葉を決めて町づくりの基本にし、「緑と若者の町」・「自然とアートの町」等を考え「相原」のブランド化を図り若い人たちの定住がアップすれば全体の底上げがされられると思われる。	まちの魅力や地域の様々な主体を活かした観光の推進やまちづくりのため、相原地域の観光についても、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
41	シティプロモーションの推進	メディアでの露出を増やすことで注目度が上がり、町田市をアピールすることが出来るので、積極的に映画やドラマ、CMなどの撮影場所として提供してはどうか。	映画やドラマ、小説、漫画等の作品は、都市のPRを進めるにあたって、有効な媒体であると認識しています。町田市のPRにつながる作品につきましては、今後も積極的な受入れを行ってまいります。ご意見の趣旨につきましては、今後事業を推進する上での参考とさせていただきます。
42	シティプロモーションの推進	子育て世代が団地再生に魅力を感じてもらうため、乳幼児を持つ親子が住まう周辺の自然や公園で遊ぶ姿を発信すると同時に、空き店舗活用や商店街の子育て世代への取組み、自治会の活動といった、団地ならではの日々の暮らしの利便性を伝え、子育て世代を巻き込むことが大事ではないか。	子育て世代に対して団地の魅力を発信していくことについては、シティプロモーションの推進の中でご意見を参考に検討していきます。
43	シティプロモーションの推進	子育て世代が団地再生に魅力を感じてもらうため、フェイスブックを使うなどして、当事者からのリアルでスピード感のある情報配信を行ってはどうか。	子育て世代に対して団地の魅力を発信していくことについては、シティプロモーションの推進の中でご意見を参考に検討していきます。
44	シティプロモーションの推進	町田は、江の島、横浜、ディズニーランド、箱根、熱海、伊豆、富士、山梨、神奈川県、都心へも近く、東京でありながら、緑が多く、山、川、海や、大型の商業施設へ行くにも便利な場所である点をアピールしてはどうか。	町田市から様々なエリアへの交通の利便性を発信していくことは重要だと認識しています。シティプロモーションの推進にて検討していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
45	シティプロモーションの推進	高齢者の見守り、障がい者や外国人との共生、男女平等都市など、差別のない都市としてのブランドづくりを推進してはどうか。	差別のない都市については、多様な主体が協働して地域の課題を解決していく活動のためにも重要だと認識しています。こうした取組みを推進していくことの情報発信等について、シティプロモーションの推進にて検討していきます。
46	シティプロモーションの推進	引きこもり支援、ブラック企業や暴力の根絶、優しいおとなと親切な社会作りなどのやさしさの先進都市としてのブランド作りを図ってはどうか。	基本目標4にある安心な暮らしを守るためにも重要だと認識しています。こうした取組みを推進していくことの情報発信等について、シティプロモーションの推進にて検討していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
47	シティプロモーションの推進	<p>東京圏としての将来発展をより確実なものとするために、なんらかのセールスポイントが必要と考える。かつて町田は福祉を大きな特長としてきたが、現在その面影はない。その代りのアイデアとして「差別のない、やさしさに満ちた都市づくり」を提唱したい。特に現代社会での最大の差別である女性差別と障がい者差別に焦点を当て、男女平等の共生社会を町田シティプロモーションとして提案したい。具体的には、(1)シティプロモーション(町田市の名前を変え、イメージアップ)、(2)イメージアップ(駅前の客引き完全撲滅キャンペーンを行いイメージアップを図る。町田イメージ向上委員会を立ち上げる。(3)人口増(教育水準の向上。公立校の教育レベルを底上げする。塾への助成。バウチャーでもよい。)(4)コミュニティの形成(30歳の成人式・同窓会・コミュニティ形成のためのイベント支援、若者向けの社会人サークルの支援、大学と連携、(5)生きがいづくり(町田には公民館が1つしかない。リタイヤ層の学習の場として、生涯学習の場を設ける)、(6)観光(ニュースポーツ分野の遊び場づくり)である。</p>	<p>男女平等の共生社会については、多様な主体が協働して地域の課題を解決していくためにも重要だと認識しています。これらの情報発信等についてシティプロモーションの推進にて検討していきます。</p>

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
48	シティプロモーションの推進	過疎化について、「町田市のブランド化が出来るか」が問題である。例えば、デッドストック化した町田市の公団・公社住宅に一人乗り電動自動運転を導入する、町田市に出来る小田急線の駅が目玉として、駅に隣接した大学病院を誘致する、新しく移転してくる新住民の要望に対応するために団塊の世代を活用する、町田市の流鏝馬を小山田緑地の馬場跡で行い、小山田一族(武田信玄の武将 小山田信茂)に繋がる歴史を展開し市民の参加を促す。	団地再生等の多様な住環境の確保や健康で充実した生活を送れるまち、人々が交流するまちづくりなど、多岐に関連するご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
49	シティプロモーションの推進	「玉川大学のアイスクリーム」や「成瀬ぎょうぎょう」、または、地方と姉妹都市を結び特化した返礼品で町田市の「ふるさと納税」をアピールした方がよいのではないかな。	基本的な施策の方向性に位置付けられた、地域資源を活かしてまちの魅力を高め、発信することと関連しており、シティプロモーションの推進の中でご意見を参考に検討していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
50	地域の交流の促進	<p>交流や安心なまちづくりに必要なのは日々の生活の場での取組みだと思う。現在ある公共施設は利用する世代が限定されているところがほとんどで、特定の目的がないと利用できなかつたり、申し込みが必要だつたりする。誰もが自由に集え、居ることができ、同じ時間を共有することで多様な世代の自然な交流が生まれる場を作っていくことが必要である。その具現化のためには、①市内に冒険遊び場を増やす、②屋内の活動として、空き店舗を市が借り上げ、街の寄り合い所のような多様な世代の交流の拠点「コミュニティカフェ」を市民団体やNPO、社会福祉法人が運営すること、③空き店舗や事務所を市が借り上げ、市民活動団体が事務作業や会議ができるコ・ワーキングスペースを安価で提供すること、④不登校の子どもたちの受け皿になるような公設民営のフリースペース(不登校の子どもが通うことで学校の出席単位になる)などの活動、⑤町田市においても培ってきた子どもたちによる自治の活動をまちづくりにも生かしていけたら素晴らしい。</p>	<p>町田市独自の戦略的視点として、経営的視点に立った公共サービスの提供、人と地域が主体となった豊かに過ごせるまちを位置付けており、これらの推進のため、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
51	地域の交流の促進	<p>高齢者向けのサークルは多いが、若者向けのサークルが少ないように思えるため、若い世代に向けたサークル活動を奨励してはどうか。</p>	<p>文化芸術活動やスポーツの振興とあわせ、地域の交流の促進を実現していくため、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
52	地域の交流の促進	KPIがあまりに短絡すぎる。むしろ実際につながりたいと思った市民が、簡単につながれる場をより多く設けるなど(例:市民センター、コミュニティーセンターの利用のしやすさ)の方が大切である。また、お客様としての市民ではなく、市民感覚を高める講座などを多く開催し、市民同士がつながり、自分たちに必要なものを市民同士が自らの手でつくっていくことをサポートするシステムが未来につながる重要なソフトとなる。	地域活動については、市民が育ち、またその市民自らが地域課題を解決する団体活動の担い手になっていただきたいと考えています。市民同士や活動団体の力を最大限に生かし、現在数多くある地域課題を解決するため、ニーズにあったよりの確な事業展開・団体運営が行えるよう、ビジネスの視点を持った専門のセンターの立ち上げを考えています。
53	地域の交流の促進	退職した世代が地域の高齢者を見守る、ボランティアを義務付けるなどをしてはどうか。	多様な主体の協働や多世代のコミュニティで相互に助け合う施策において、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
54	地域の交流の促進	「〇多世代のコミュニティが充実した良好な住環境をつくる」ためには、ボランティアを増やすこと。シニアの面倒はシニアが見れる仕組みを作ることが必要ではないか。	多様な主体の協働や多世代のコミュニティで相互に助け合う施策において、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
55	地域の交流の促進	高齢者は、電子機器を利用することができない方々が多く、個別訪問による安心な暮らしの確保し、対面会話が必要とされているため、高度通信社会に対応した地域社会づくりやそれに対応できない方々の対応の地域社会づくりの検討が必要ではないか。	地域活動については、市民が育ち、またその市民自らが地域課題を解決する団体活動の担い手になっていただきたいと考えています。市民同士や活動団体の力を最大限に生かし、現在数多くある地域課題を解決するため、ニーズにあったよりの確な事業展開・団体運営が行えるよう、ビジネスの視点を持った専門のセンターの立ち上げを考えています。
56	地域の交流の促進	団塊の世代が、今65才、そして2025年に75才となり高齢者のピークを迎える。元気なシニアの活用、特に男性の地域デビューのため、今までの地位やプライド等を捨てて社会貢献する教育／研修セミナーを頻繁に開催して欲しい。	元気なシニアについては、多様な主体の協働や多世代のコミュニティで相互に助け合う施策において、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 24件

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
57	多様な保育、幼児教育の充実	小学校学区または中学校学区を単位とする地域コミュニティの再構築するため、子育てを地域コミュニティの中心に置き、高齢者育児ヘルパーを活用してはどうか。	高齢者育児ヘルパーについては、多様な主体の協働や多世代のコミュニティで相互に助け合う施策において、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
58	多様な保育、幼児教育の充実	買い物時の託児サービスやフリースペースの設置など、駅前商業施設での子育てサービスがあるとよい。	赤ちゃん・ふらっとの設置など事業者との協働により進めています。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
59	多様な保育、幼児教育の充実	育児や介護福祉従事者の待遇を改善し、保育士確保、女性の貧困・就業問題を改善する必要があるのではないかと。	保育士の処遇改善や一人親の自立支援については、すでに取り組んでいるところです。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
60	多様な保育、幼児教育の充実	認定こども園の設置数を増やしてはどうか。	町田市子ども・子育て支援事業計画に基づいて推進していきます。
61	多様な保育、幼児教育の充実	母親が働ける環境を整備するため、保育園・子ども園・病後児保育園を増やすしてはどうか。	町田市子ども・子育て支援事業計画に基づいて推進していきます。
62	多様な保育、幼児教育の充実	子育て世代へ駅周辺施設サービスの充実について具体的な施策に入っているようだが、施設が入る場所についても、親の送迎がスムーズに行き、移動等で子どもたちの負担が少なくすむ場所は何処なのか、よく検討してほしい。	多様な保育・幼児教育の充実に向けて、駅周辺施設サービスの充実は重要だと認識しています。今後の事業推進において、検討していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
63	子育てに関する相談・支援体制の充実	地域で子育てを支える事業の充実のため、各地域に「子育てサークル」「子育てサロン」など、乳幼児を持つ保護者が安心して子育てができる場を提供し、同じ境遇の方がコミュニケーションを図れる環境づくりを行くことが必要ではないか。例えば、「子育て中の母親を対象としたフィットネス教室」、「子育てボランティアによる育児相談所」、「親子でクッキングコンテスト」など。	乳幼児を持つ保護者が安心して子育てができる場や同じ境遇の方がコミュニケーションを図れる環境づくりについては、地域子育て相談センターを中心にマイ保育園事業などの取組みを進めています。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
64	子育てに関する相談・支援体制の充実	高齢者にかかっている予算を子育てにかかっている予算と逆転させて、若い世代の希望をかなえる必要があるのではないか。	高齢者にかかる医療介護費の増加が見込まれており、健康づくりの支援、地域活動への参加等を通じたこれらの費用抑制を図りながら、将来を担う子どもたちへの支援を充実していく必要があると考えています。ご意見として承ります。
65	子育てに関する相談・支援体制の充実	小児医療の充実を図ってはどうか。	ご意見として承ります。
66	子育てに関する相談・支援体制の充実	児童手当に市独自の手当を設けてはどうか。	ご意見として承ります。
67	子育てに関する相談・支援体制の充実	出産祝い金を高額支給してはどうか。	ご意見として承ります。
68	子育てに関する相談・支援体制の充実	子どもセンターを各地域に早期に設置する必要があるのではないか。	子どもセンターにつきましては、2016年4月に町田地区に子どもセンターが完成し、各地域設置となります。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
69	子育てに関する相談・支援体制の充実	所得制限なしで、15歳まで医療費を助成してはどうか。	ご意見として承ります。
70	子育てに関する相談・支援体制の充実	安価な賃料の市営住宅を充実してはどうか。	町田市の財政状況は厳しい状況にあり、今後は公共施設の維持管理において徹底した効率化が求められます。そのため、ご提案いただきました「市営住宅の充実」につきましては、新規の建設は難しいものと考えます。ご意見として承り、検討していきます。
71	楽しく学べる教育の充実	小中一貫教育を実施してはどうか。	小中一貫教育につきましては、既に取り組みを進めているところです。
72	楽しく学べる教育の充実	貧困の連鎖を断ち切るものとして教育格差の解消の視点がどこかに盛り込めないか。学習応援的な表現で入れて頂きたい。	貧困の連鎖を断ち切り格差の解消については、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
73	豊かな体験・交流ができる機会の充実	中・高齢者に現代の子供の性質と接し方を学ぶ講習会を積極的に行ってはどうか。	ご意見として承ります。
74	豊かな体験・交流ができる機会の充実	老人ホームでの子どもの職場体験活動や、高齢者が昔のあそびや自然とふれあえるあそびを子どもに教えるなどといった高齢者と子供を繋ぐ催しを増やしてはどうか。	高齢者と子どもをつなぐ催しにつきましては、高齢者福祉センターの近隣保育所においては、園児達が訪問し、手遊びやゲームなどで交流を進めています。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
75	豊かな体験・交流ができる機会の充実	<p>今の子育て世代は豊かな自然環境で自由に遊んだ経験が乏しい。環境保護に目が行く子どもを育てるためには、その環境を知らなければ育っていかない。また、体力低下の問題や道徳心においても、全て遊びの中で得ることが可能である。昔ならご近所との多世代間交流が可能だったが、現在は皆無に等しい。障害者、外国籍、性別、年齢など関係がなく、ありのままの自分で存在できる場所があること、またその時間を共有し過ごすことは相手を知り認めることにつながり、学校や習い事では得られない貴重な体験の機会となる。子どもの貧困問題や虐待について、冒険遊び場で察知することが多々あり、現場にプレーリーダーを置くこと、スタッフとして変わらぬ大人がいることは、子どもたちの背景や変化に気づく重要な場である。屋内の施設に出かけていくのが辛い親子や、エネルギーが余っている子どもたち、また発達の問題が見受けられる子どもにとっても、走り、叫び、たとえじっとして動かず観察するだけでも、屋外である遊び場は、一日として同じ景色はなく、それらを許容することができる。冒険遊び場が子どもたちに自分の足で移動できる範囲にあることが、望ましい。そのためには、行政の児童関係だけではなく、他の部署(公園、子育て、福祉、生涯学習、教育委員会等)との連携と市民との本気の協働が必要である。</p>	<p>冒険遊び場も含め、事業の拡充や施設整備などにより、豊かな体験・交流ができる機会の充実を図っていきたいと考えております。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
76	豊かな体験・交流ができる機会の充実	誰もが、いつでも来られる場所として冒険遊び場を開園していくためには、子どもを理解する姿勢と共に、安全管理、場のデザイン、クレーム対応、救急処置等の遊び場に求められる専門性の高いプレーリーダーを置くことが必要である。また、プレーリーダーを雇用し、運営を担う市民がボランティアでは、これから新しい世代は出てこない。子どもたちの育ち、親育ち、相互支援、地域交流、異世代間交流、自然体験、生きづらさを抱えた子どもや大人の居場所、保育園・小、中学校、高校、大学、専門学校の受け入れ、市民の活躍の場と、あげたらきりがないほどのことを行っている。可能性を秘めた遊び場の維持、継続が安定し、持続可能になることを行政と市民が共に考えていくことを希望する。	冒険遊び場も含め、事業の拡充や施設整備などにより、豊かな体験・交流ができる機会の充実を図っていきたいと考えております。 ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
77	豊かな体験・交流ができる機会の充実	町田の公園は、うっそうとした樹木が多く、心地よい木陰もあり、より自然に近い、今となっては市外ではあまりみられない自然豊かな公園が多い(わさび田公園、鶴間公園、芹が谷公園、野津田公園、忠生公園など)。また、幼少期に雑木林のデコボコ道で足の裏を刺激しながら遊ぶことが、その後の心身の発達に非常によい影響をもたらす、ということもよく知られています。総合的な人間の育成には、知の刺激ばかりではなく、お日様、大地、緑、風を感じながらの外遊びの重要性は、今後ますます高まってくると思います。大人にとっても、緑と空しか見えない心地よい空間こそ、かけがえのない価値を感じるものと思います。今後も市内のそれぞれの地域に、緑豊かな自然あふれる公園があり続けることこそが、町田市の価値を高めてくれるものと思う。	緑豊かな自然あふれる市内の公園の存在は重要だと認識しています。こうした地域資源を活かして豊かな体験・交流ができる機会を充実するほか、その魅力の発信を検討していきます。
78	地域と学校の連携強化	幼稚園、保育園、認定こども園の職員資格の条件を緩和し、中高年齢層が持ち合わせる学校では教えない慣習、技術などを次世代に伝えてはどうか。	地域と学校の連携強化の施策の中で、高齢者の知見を伝えていただくなど、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
79	その他	婚活イベントで町田市立陸上競技場の4階VIPルームを結婚式2次会会場として使用し、FC町田ゼルビアとのコラボでサポーターに演出で協力してもらおうのはどうか。	婚活イベントについては、市では実施の計画はありませんが、多様な主体との連携による取組みは期待できます。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
80	その他	街コンパティーを増やしてはどうか。	街コンパティーについては、市では実施の計画はありませんが、多様な主体との連携による取組みは期待できます。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

4.時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る 31件

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
81	健康づくりの支援	町内会の運動会に参加し、準備、運営、片付けを通して、ご近所であっても顔を合わせない世代の違う方とも多く交流がもてたが、景品目当てに体力以上の競技に参加し、ケガをされる方が多かった。他人と競う形ではなく、体力測定会の様な催しにして自身の体力について知ってもらう事もできれば良いのではないか。	介護予防の観点からも、身近な場所や日常生活で気軽にスポーツに取り組める環境や健康について意識する環境づくりは重要であると認識しています。ご意見を参考に検討していきます。
82	健康づくりの支援	過剰医療の問題が気になる。健康診断で、ひとつの基準値で健康・不健康としていくシステム、未就学児の医療費が無料なために生涯、薬漬けの人間を作ってしまうことを危惧する。ピンピンコロリを目指し、健康体操の機会、地域の人々が気軽に集える場所づくり、心と体の健康に関する有効な学習の場、を提供していくことが大切。極端に言えば、医療機関にかからなかった人に、報奨金を出すなどしたほうが、医療費の抑制には有効ではないか。	元気なシニアについては、多様な主体の協働や多世代のコミュニティで相互に助け合う施策において重要だと認識しています。健康づくり支援の施策において、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
83	健康づくりの支援	高齢化の社会の今、元気な高齢者を増やし、維持していく事が大切で、要支援から要介護にならないように介護予防に努めるべきであり、健康体操や介護予防体操、運動を行える場所を整えてはどうか。	元気な高齢者を増やし、維持していく事が大切だと認識しています。基本施策に健康づくりの支援を位置付けておりますので、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
84	健康づくりの支援	日々、健康で豊かな暮らしを過ごすためには、心身ともに充実できる生活環境と各地域で健康づくりが体験できる場を提供することが重要。各地域の防災拠点となる場所で「3世代が遊びの中から防災を考え、体験できるイベント」(親子で参加する防災キャンプなど)を開催してはどうか。	基本施策として健康づくりの支援や市民の防災意識の向上を位置付けております。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
85	路線バスの利用環境の整備	今後、高齢化が進み、車の運転を控える方が増えることが考えられるので、現在の公共交通機関の見直しが必要になってくると思われます。	路線バスにつきましては、町田市便利なバス計画により推進していきます。路線バスの利用環境の整備のほか、鉄道や路線バスを補完する交通手段の充実により、高齢者の公共交通による移動手段の確保を推進していきます。
86	鉄道・路線バスを補完する交通手段の充実	子育て施設、病院、教育、遊びを結ぶバス等の交通の利便性を向上させ、住環境を高める地域づくりが必要ではないか。	路線バスにつきましては、町田市便利なバス計画により推進していきます。
87	鉄道・路線バスを補完する交通手段の充実	町田はいまだに道路事情が悪く、農道が舗装されただけのような所も多く見られ、駅周辺も混雑がひどい所があるため、改善してほしい。	公共交通や生活環境の増進に向けた施策を進めていきます。ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
88	鉄道・路線バスを補完する交通手段の充実	公共交通機関と連携をして、通勤・通学の便を改善すれば独立期の転出傾向が弱まるのではないだろうか。	通勤・通学の交通環境の改善は重要だと認識しています。路線バスの利用環境の整備のほか、鉄道や路線バスを補完する交通手段の充実を検討していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
89	商業拠点の戦略的な整備	商業については、高齢者の買い物が大変になっている現状を踏まえて、乗合タクシーの導入や商店の配達制度の導入を図り、高齢者の安全確認を図るとともに、圏央道の開通による物流拠点の整備やリニア新幹線の開通に向けたホテル誘致の施策を進めてはどうか。	高齢者の買い物環境の確保、商業拠点の形成につきまして、多様な主体の協働や商業拠点の戦略的な整備などにおいて、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
90	商業拠点の戦略的な整備	町田駅、鶴川駅、多摩境、南町田駅周辺を活性化させ、「まちだニューパラダイム」を実行し、若い世代にとって魅力あるまちづくりをすることが必要ではないか。	町田駅周辺の魅力向上については、「まちだ未来づくりプラン」で未来づくりプロジェクトと位置付け検討しております。商業拠点の戦略的な整備などを進めるにあたり、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
91	交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)	鶴川駅周辺について、駅前の大駐車場を、大型の高齢者等も利用出来るショッピングモールへ建替えるアイデアはどうか。	鶴川駅周辺は、副次核としてさらなる魅力づくりを進めます。交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)の中で、検討していきます。
92	交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)	新百合ヶ丘駅と町田駅との中間駅である鶴川駅周辺を活性化させる。また、オリンピックを見据えて、鶴川団地で海外旅行者の宿泊を可能にしてはどうか。	鶴川駅周辺は、川崎市、横浜市などの市外も含めた一帯の拠点として、商業、業務、文化などの機能を引き続き誘導し、地権者とまちづくりの協議を進め、副次核として、魅力づくりを進めていきます。
93	交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)	人口が多いわりに駅が小さかったり、鶴川など駅周辺も道路の流れが悪いなどの改善が必要ではないか。	交通拠点のターミナル機能の充実(鶴川駅周辺)において推進していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
94	災害への備えの強化	災害発生時に残してきた子どもを誰が見てくれるのか、預かってくれるのかは、働く親にとって住まいを選ぶときに重要であり、保育所、幼稚園、学校、自治会、ご近所の誰かが、災害時・緊急時に親が帰れなくとも、子どもを誰かが見てくれる・預かってくれる制度をつくってはどうか。	災害時の保育につきましては、町田市地域防災計画に基づき、緊急保育、応急保育を実施します。
95	災害への備えの強化	SNSを上手く使い緊急時やそれ以外でも情報の共有をしてはどうか。	SNSでの「不審者・犯罪情報」・「防災情報」の一部、及び「気象・地震情報」・「Jアラート情報」などの災害・緊急情報の提供につきましては、既に取り組みを進めています。
96	災害への備えの強化	地震などの災害に備えた街づくりを図ってはどうか。	町田市では、災害対策の基本計画である町田市地域防災計画を策定しております。計画では、「首都直下地震等による東京の被害想定」などの被害想定や東日本大震災、集中豪雨等による都市型水害及び土砂災害などの最近の災害から得た教訓、近年の社会経済情勢の変化、及び市民・市議会などの提言を可能な限り反映し、災害に備えております。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
97	災害への備えの強化	住民が避難した際に必要な物を必要な人に届けられる様な体制作りを行ってはどうか。	町田市は、地震等の大規模な災害が発生した場合に備え、他自治体や企業等の様々な団体と災害時協力協定を結び、災害時における市民の対策を講じています。災害時の物資の供給及び輸送に関しましても、市内事業者等と協定を締結し、災害時の市民への物資供給の充実を図っております。
98	防犯対策の推進	オレオレ詐欺、出会い系サイトなどでの詐欺被害を防ぐ必要がある。	振り込め詐欺については、未だ多くの方が被害に遭っていることから、警察と連携をして様々な機会を通じて犯人の手口等の説明を行っているほか、金融機関の方とも連携をし、被害防止に努めているところです。また、出会い系サイトについては、防犯講話等で青少年の保護者を対象に携帯電話機のフィルタリング機能や被害の実例等を紹介し、危険性を説明して対策にあっています。
99	多様な住まいを確保する	団地のリノベーションを進めるとともに、建て替え時に緑を減らすことのないようにし、お金を使わなくとも身近に触れ合える自然があることをURや供給公社と協力し、もっとアピールしてはどうか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。住宅需要の変化に対応した団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
100	多様な住まいを確保する	団地地域を見直し、大型スーパーや企業を誘致し、周辺の廃校になった校舎を耐震化、リノベーション後にグループホームや有料老人ホームと幼稚園・保育園(こども園)として使用し、施設の複合型を図り、周辺地域とを繋ぐコミュニティバスを運行することで、子育てと介護が両立し、多世代が同じ地域に居住できるようにしてはどうか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。多様な世代がともに暮らせる団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
101	多様な住まいを確保する	自治会の防災見学バスツアーでは圧倒的に子育て世代が少なかったため、子育て世代が魅力を感じる団地再生、自治会活動のため、住民同士が知り合える機会を増やすべき。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。多様な世代がともに暮らせる団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
102	多様な住まいを確保する	町田市の人口が飛躍的に伸びたのは、ベツタウンとして団地が沢山あり、昭和40年代に他の都道府県から町田に移住してきた子育て世代が多く、栄えていたから。現在は子育て世代が少なく、空き家が目立ち、近所づきあいが乏しく、仮住まいの若い世代が多いため地域に関心がないため、町田の団地に魅力がなくなってしまった。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。多様な世代がともに暮らせる団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
103	多様な住まいを確保する	子育て世代が魅力的に思う団地再生モデル家族を募集し、家賃無料や補助を設けるとともに自治会活動や防災訓練への参加を条件に、期間限定で住んでもらい、団地暮らしの良さをフェイスブックやツイッターで発信してもらうのはどうか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。多様な世代がともに暮らせる団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
104	多様な住まいを確保する	子育て世代が団地再生に魅力を感じてもらうため、子育ての学習会に、子育ての仲間づくりや不安解消だけでなく、当事者から地域での子育ての良さを発信する講座などを設け、本気で活躍してくれる方を募集し、雇ってはどうか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。多様な世代がともに暮らせる団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
105	多様な住まいを確保する	昭和40年代後半に建てられた団地群の整備・再開発など、不動産業者と連携・協力をして住居を整備し、子育て世帯に魅力ある市にした方が良いのではないか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。住宅市場の中での魅力ある団地づくりにつきましては、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
106	多様な住まいを確保する	子育て世代が団地再生に魅力を感じてもらうため、団地の空き部屋を学生寮として使うことで、防災訓練への参加など、近隣と知り合える数少ないチャンスでたくさんのお思い出を作ってもらい、町田にまた戻ってきてもらえるような取組みを行ってはどうか。	団地再生に向けた取組みにつきましては、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。学生寮としての利用については、大学連携の中で進めていきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
107	多様な住まいを確保する	山崎団地含め商店街も45年以上の年月を経て、団地住民の高齢化、商店街のシャッター通りと活気が無くなってきている。広大な敷地に恵まれたこの団地を再生するためには子供や若者が住みたい、買物が楽しいと思えるような魅力ある活力ある地域にすることが必要である。また、高齢者が安心して住める環境づくりも重要である。その為に団地住民、商店街を含めた広大な土地を利用したアウトレットの設立を要望する。内容としては、1. 現在散在している施設を集約し広大な駐車場の確保、2. 可能なら多摩センターから町田間のモノレール開通し団地内に駅を開設、3. 二次救急が受け入れられる連携病院の設立である。	団地再生に向けた取組みにつきましても、「まちだ未来づくりプラン」の中で未来づくりプロジェクトとして進めております。にぎわいの拠点形成につきましても、2012年度に策定した町田市団地再生方針に基づき取組みを進めていきます。
108	その他	公営住宅を全廃による固定資産税の増額や市民病院を廃止して大学病院の誘致による先進医療の導入を図ってはどうか。	現在、町田市内の公営住宅（市営住宅 548 戸、都営住宅 8,190 戸）は、セーフティネットとしての役割を担っています。また、町田市民病院は、急性期医療を担う、地域の中核病院として、東京都二次救急医療機関・災害拠点病院・地域周産期母子医療センターの指定を受け、地域から求められている、二次医療・救急医療・周産期医療などを提供しています。人口減少・超高齢化社会に向けた、ご意見として承ります。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
109	その他	講ずべき施策の基本的な方向性として、障がい者支援や高齢者支援の視点が必要である。	本戦略では、将来の人口動向の分析結果(人口ビジョン)から、人口減少・高齢化に如何に対応していくかを中心に検討しております。ご意見として承ります。
110	その他	プロパンガスを使用している地域が多く、地域によって基本料金の平均値が異なるなど一般の人に判りにくいことも多い。	町田市には、プロパンガスを使用している地域があります。取扱事業者によって料金が異なるようです。ご意見として承ります。
111	その他	喫煙所を増やしてほしい。	ご意見として承ります。

その他 9件

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
112	計画全般	「4. 町田市の施策との関連性」について、位置付けがよく分からない。表—1の表記では、総合戦略が最上位のものと認識してしまう。「町田市の」が表題に記されることで、他人事のように感じられるため、「町田市総合戦略の策定に当たっては、国が示す5原則に対応し、かつ、町田市独自の戦略的視点を見据えて、基本計画である『まちだ未来づくりプラン』とその実施計画である『町田市新5カ年計画』『次期5カ年計画』の確実な進捗を図ることを目標とする」としてはどうか。	まちだ未来づくりプラン、町田市新5カ年計画を考慮して本総合戦略を策定し、今後は次期5カ年計画に反映していきます。今後の参考とさせていただきます。
113	計画全般	P9の基本施策の中の文言を「支援」から「取組み」とし、表中に「主体欄」を設けてはどうか。指標の表現が「アウトプット」と思われるものが多いのではないか。	ここでは市の施策として記載しておりますので、現在の表記としております。指標につきましては、アウトカム指標の設定ができない場合には、アウトプット指標の設定でも差し支えないと国が示しております。
114	計画全般	戦略について、個人(私)より、トップが、しっかり主導していただきたい。	町田市総合戦略は、現在の市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン」とその実施計画である「町田市新5カ年計画」を踏まえながら、町田市未来づくり研究所で提言された「まちだニューパラダイム2030年に向けた町田の転換」の考え方も参考として策定いたします。策定後は、施策の実施状況及び目標達成状況を検証していきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
115	計画全般	町田市においては、市民と行政の協働の取り組みの経験が浅く、行政も市民も協働することについてのきちんとしたビジョンを持っていないと感じる。その点について考えあう場を設け、指針となるようなビジョンを立ち上げ、それを各行政職員、市民に普及する努力をしてほしい。	地域の協働を進めるために、地区協議会のみでなく、地域の全ての資源・資産を活用した新たな地域社会を創造するための、長期ビジョンを示していきたいと考えています。取り組みの中でご意見を参考に検討していきます。
116	計画全般	「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」に共感した。人口ビジョンや総合戦略としてそのまま活用した方が「きらめく町田」になるための戦略としてふさわしいと感じた。	まちだニューパラダイムの考え方は町田市独自の戦略的視点のほか、各施策に反映しておりますが、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
117	計画全般	基本目標1-4はそれぞれリンクしているので、総合的に考えていただきたい。	4つの基本目標は町田市の将来の課題に対応するためにいずれも欠くことができないものであり、経済活動を盛んにすることが交流や子育て環境の整備にも効果をもたらすなど、ご指摘のとおり相互に影響するものと認識しております。これらの目標の実現に向け、町田市独自の視点に記載した多様な主体の協働による効率的、効果的なサービス提供や多様な人々の交流、活動など、分野横断的に取り組んでまいります。
118	人口ビジョン	総合戦略には策定の背景があるが、人口ビジョンは背景がない。国が進めている地方創生の背景を説明したほうが分かりやすいので、説明が欲しい。	ご意見として承り、参考とさせていただきます。
119	その他	目の見えない人、障がい者、お年寄りにもわかるように取り組んでほしい。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

No.	基本施策	ご意見の概要	市の考え方
120	その他	東日本大震災後、娯楽や経済活動を控えるといった考え方があり、その様なムードがまん延しているが、それではこれからの社会の活性化には繋がらない。	賑わいの創出につきましては、基本目標2の人々が交流するまちづくりの推進に努めていきます。